

平成 30 年度中山道広重美術館事業計画

中山道広重美術館は、ことし開館 17 年目を迎える。また、当公益財団法人が恵那市から中山道広重美術館の指定管理業務を受託して 4 年目となる。あらためて中山道広重美術館の使命を果たし、成果を最大化するよういっそう努めなければならない。

当館は風景画の名手「広重」の名を冠する、地方には珍しい浮世絵の専門美術館である。歌川広重の作品を中心とする質の高い浮世絵版画の展示や、体験・学習などの仕組みを通して、来館者により大きな感動と満足感を持ち帰っていただけるよう努める。

まず展示事業では、春の特別企画展として「浮世絵諸国探訪—六十余州名所図会を中心に—」を開催する。この展覧会では、縦型画面に迫力ある構図と鮮やかな色彩で描き出した広重晩年の傑作《六十余州名所図会》を中心に、街道や名所の美しい風景画を楽しんでいただく。

9 月には、恒例の特別展観「木曾海道六拾九次之内」を開催。当館コレクションの中でも最も美しい《木曾海道六拾九次之内》全点を堪能していただく。

続いて 10 月からは「原安三郎コレクション公開 北斎と広重展」を開催する。日本化薬（株）元会長で財界の重鎮でもあった原安三郎氏が、昭和初期に横浜から帰国する米国の宣教師から譲り受け、長く秘蔵されてきた原コレクション。保存状態が極めて良く、貴重な肉筆も含む作品群の中から北斎と広重の逸品を大公開する。

教育普及事業では、連続講座「風景を描く、風景を見る」を開講する。広重が生きた江戸時代後期には、旅行への関心の高まりとともに、浮世絵でも旅や風景がそのテーマとして取り上げられるようになった。そこで風景をテーマに、えりすぐり講師陣により時代や国をクロスオーバーさせ、美術の歴史に迫る。また、昨年度初めて行った学芸員実習の受け入れを続けるとともに、第 15 回広重賞こども版画コンクールを開催する。

施設整備では、浮世絵ナビルームの総合的な展示充実に取り組む。この展示室は、平成 28 年度に絵草紙屋再現と人型ロボットペッパーの導入など一部をリニューアルした。しかし、パネル展示とパソコンを使った学習装置の劣化と陳腐化が進んでいるため、これらの更新、全体の展示動線の整理などを行う。また、恵那市の事業に協力して第 2 展示室の照明の LED 化を行う。

昨年 10 月から開始した美術館スポンサー制度は、企業からの金銭的支援を得て観覧料を無料とする制度。地元 3 社の協賛により毎週金曜日を終日観覧無料としており、前年同期の金曜日と比べ、約 2 倍の観覧者実績となっている。この制度を継続するとともに、さらにその輪が広がるよう働きかけていきたい。

以上、今まで取り組んできた活動の一つ一つを大切にしながら、一方では新しい試みにも挑戦しつつ、新たな歴史を築いていきたい。

1. 公益目的事業
展示

	区分	事業名	開催期間	事業概要
1	特別企画展	浮世絵諸国探訪 ー六十余州名所図 会を中心にー	前期 4月5日(木) ～5月6日(日) 後期 5月10日(木) ～6月10日(日)	晩年の広重が、全国各地の名所を描いた《六十余州名所図会》。迫力ある構図と鮮やかな色彩が圧巻。この傑作を中心に、広重が描く街道や名所の美しい風景画を楽しんでいただく。
2	企画展	花ふわり、月ひかり	6月14日(木) ～7月16日(月・祝)	広重は移ろう季節や天候の変化の一瞬を切り取り、情感豊かな風景を描き出した。そこには目に見えない風や香りさえ感じられる。
3	企画展	思い出の江戸っ子 アルバム	7月20日(金) ～8月26日(日)	広重は当時の江戸っ子の表情をまるでスナップ写真のように絵に収めた。今も昔も変わらない人の気持ちが生き生きと表されている。
4	特別展観	木曾海道六拾九次 之内	8月30日(木) ～9月30日(日)	当館コレクションの中でも最も美しい揃物の一つである《木曾海道六拾九次之内》を、全点展示。歌川広重と湊齋英泉、江戸の二大浮世絵師が中山道をテーマに描いたシリーズ。
5	特別企画展	広重没後160年記念 原安三郎コレクシ ョン公開 北齋と広重展	前期 10月4日(木) ～11月4日(日) 後期 11月8日(木) ～12月2日(日)	日本化薬元会長・原安三郎氏の浮世絵コレクションから、歌川広重と葛飾北齋の保存状態のよい逸品を大公開。貴重な肉筆画も多数展示。
6	企画展	広重とめぐる I たかが道、されど道 ー山海道之記実見ー	12月6日(木) ～31年1月20日 (日)	広重の街道絵や名所絵を中心に当時の旅の様子探る展覧会シリーズ第1弾。道に焦点を当て、江戸時代に整備された街道の姿に迫る。

	区分	事業名	開催期間	事業概要
7	企画展	広重とめぐるⅡ 江戸時代 旅の手帖	1月24日(木) ～2月24日(日)	シリーズ第2弾では、「名所・名物」に焦点を当て、土地ごとの名物や名産品、思わず声を上げてしまうような絶景を紹介する。
8	企画展	広重とめぐるⅢ 庶民だって旅がしたい!	2月28日(木) ～3月31日(日)	シリーズ第3弾は、江戸時代庶民にまで広がった旅ブームと、そのブームに支えられて一躍人気絵師に躍り出た広重の風景画の魅力を探る。

教育・普及・調査研究等

	区分	事業名	開催時期	事業概要
1	連続講座	風景を描く、風景を見る	①4月21日(土) ②5月12日(土) ③6月9日(土) ④10月6日(土) ⑤11月17日(土) ⑥12月8日(土)	①山本聡美氏「中世絵画に見る『風景』－霊地をめぐる」 ②島尾新氏「心のなかの風景を描き出す－水墨山水画の世界」 ③小林忠氏「文人画家池大雅と浦上玉堂の山水画」 ④木島俊介氏「ヨーロッパの風景画と広重」 ⑤小池満紀子氏「北斎と広重」 ⑥打林俊氏「光で描かれた風景－理想化と現実をめぐる写真の歴史」
2	子ども向け教育普及事業	なつやすみ★こどもびじゅつかん	7～8月	夏休み企画展関連イベント。作品を見る、作る楽しみを同時に体験してもらうことを狙いとして開催。
3	研修受け入れ事業	学芸員実習	随時	近年、大学等からの要望が多い学芸員実習を昨年度に引き続き受け入れる。

	区分	事業名	開催時期	事業概要
4	中央通り商店街連携事業	ゆかたで涼む美術館(夜間開館)	8月中旬	美術館で江戸の夏の風情を楽しんでいただく恒例企画。浴衣でご来館のお客さま各種サービスを実施。中央通り商店街夏祭りと同日に行い、商店街との連携を図る。
5	版画公募展	第15回広重賞こども版画コンクール	7月～3月	市内の子どもたちに、自己を表現する喜びや作品をつくり出す楽しさを体験させることを目的に開催。
6	調査研究事業	収蔵作品データベースの再構築	4月～	当館収蔵作品のデータベースを全て再確認。使い易く再構築して、公開を目指す。
7	平成31年度特別企画展開催に向けての展示作品の調査、研究、及び資料収集。			
8	平成32年度展覧会の企画構想に関する調査、研究。			
9	コレクション形成、新規購入、寄贈作品に関する調査、研究。			

2. 収益事業

(1) ミュージアムショップの運営

- ・美術関連商品の企画・販売
- ・展覧会関係グッズ、図録の販売

3. 管理事業

(1) 理事会、評議員会の運営

(2) 美術館施設・設備及び収蔵美術品の適正な管理

- ・浮世絵ナビルームの学習装置の更新、展示動線の整理など総合的な展示充実に取り組む。
- ・恵那市の事業に協力し、第2展示室の照明をLED化する。

(3) 法人の運営